

令和7年度第2回庄原市情報教育研修会

- 日 時：令和7年11月5日（水） 13：00～16：35
■場 所：庄原市立庄原小学校
■対象者：庄原市内各小・中学校のICT活用推進リーダー

目 的

- 授業におけるタブレット端末の活用について研修することを通して、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善を図る。
- 市内におけるタブレット端末の取組及び活用状況を交流し、自校での取組に取り入れるヒントを見付ける。

【研究授業】 第4学年 国語科 「ごんぎつね」

授業者：庄原市立庄原小学校 教諭 仲榮眞 慎太郎

【協 議】「主体的・対話的で深い学びに向けたタブレット端末の利用」

- 庄原市立庄原小学校の国語科の授業を参観し、「児童の学びを深めるためにタブレット端末の活用は効果的であったか？」について協議を行った。児童同士の考えと考えをつなぐ手段の一つとしてタブレット端末のポジショニング機能を活用した授業を提案した。
- 子供たちの資質・能力の育成に向けて大切なのは授業づくりであり、授業を通してどのような資質・能力を身に付けさせたいか明確にした上で、教科の特性や学習内容と照らし合わせて効果的なタブレット端末の活用について常に検討していく必要がある。

【グループ協議】

- ・ポジショニング機能をもとに、自分と似た考えの友達や違う考えの友達にすぐに聞きに行くことや考えの変化をもとに学びを振り返ることができていた。
- ・もっと教科書の言葉に向き合い読み取らせておくと、根拠に基づいた交流になったのではないかと。
- ・タイピングの技能が向上すると、振り返りの入力後に交流できるため、学習の土台となる力の育成が必要である。



【実践発表】「校務におけるICT機器の利活用について」

発表者：庄原市立庄原小学校 教諭 坂田 雅則

【交 流】「校務におけるICT活用及び情報活用能力育成の各校の取組」

- 庄原市立庄原小学校の校務におけるICT機器の利活用についての実践発表をもとに、自校における取組を交流した。実践発表では、クラウドを活用し全体で情報を共有するためにICTを活用することで、教職員のICTの理解を促進し、授業等で活用につながっている様子を紹介していただいた。
- 子供たちの周りには様々な情報があふれており、ICT機器を活用する力、情報を正しく扱う力が必要となる。まずは、教職員が正しく理解し活用することで、情報活用能力の育成につなげていく必要がある。

【参加者の感想等】

- ・ICTを活用した授業づくりにおいて、指導者がICTに使われない授業にするためには、ICTの良さは何か、課題は何かを明確にしていく必要性を感じました。
- ・チャット機能やクラスルーム機能など、明日からでも校務で活用できそうなものが多くあったので、取り入れていきたいです。
- ・たくさんの具体的な実践を学ぶことができ、各学年の実態や必要に応じて選択して活用できるように、校内で共有していきたいです。

